

---

# **宇宙を越えた愛のメッセージ**

A軍 捕虜

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

宇宙を越えた愛のメッセージ

### 【Zコード】

Z2246BA

### 【作者名】

A軍 捕虜

### 【あらすじ】

大切な人を失つてしまふ、不思議なメッセージが届く様になつた。

「ただいま～」

誰も居ない家に私は呼び掛ける。

・・・・・

無論、返事は無い。

・・・私、まだ引きずつてゐる・・でもさ、吹き切れようとしても・・  
・・「おかえり」つて、貴方が笑顔で迎えてくれるような気がして・・  
・・・ハア・・・・・駄目だなあ・・・・あたし・・

彼は5年前、宇宙に行つた。

何故かといふと宇宙飛行士だからだ。

たしか・・・なんとか星の・・・えーと、研究・・・忘れた。

これ以上、彼について思い出したくなかった。だからやつこと結論  
付け、2階に上がり、着替えた。

えーと、たしか・・・あ、報告書書かないと！

既に深夜だった為、風呂を諦めていた私はパソコン片手に1階に下  
り、ビールに「コンビニ弁当を用意した。

これよし！

早速、椅子に座り、置いていたパソコンを開き、電源を入れた。立ち上がるまで、3分かかる為、ビールに手を出す。

「ふう～、一日終わり～やつぱりビールで一日は閉めないとねえ～。  
ま、今1時だけどねえ～～～！」

家に響く虚しい私の独り言。

独り言つて言つてる方が辛い！

でも言いたい！

ハツ・・・私は今、空氣に話してんんだ！独り言じやない！  
よしー喋つてやるー

と、変な決意をすると同時に、パソコンが立ち上がった。  
弁当とビールに手を出しつつ、三分の一しかできない報告書を造  
る。

「ん～、たるい。物凄く面倒。」と、連呼しながらだ。

「あ～、空が居たらわ、励ましてくれたのに・・・」

ふと、出た言葉が自分の首を絞めた。

ソラ・・・あの時、止めていれば・・・こんな事には・・・。  
！・・駄田駄田ー忘れなきや！

無意識にこんな事を考えてしまった私は慌て考えを振り払おうと首  
を振る。

「えーと、売り上げは・・・」

ピルルルル！

「「はあ！？」

不意に、携帯が鳴った。メールが来たようだ。

「び、びっくりした・・・誰よー！」

携帯を開くと

差出人「I LOVE KIMI@

件名「ホラ、綺麗でしょ。」

本文『ねえ、見て、あんなに広い大陸が全て見えるよー。』

「ハア？何コレ？」

知らないアドレスだった。

添付されていた画像を見るとアメリカとカナダが見えていた。明らかに宇宙から撮った画像だ。

「イタズラ？・・・だよね、うん。インターネットから画像取つたんだ。無視無視。」

即座に携帯を閉じ、報告書をしあげた頃には3時だった。

＊＊＊

翌日から、毎晩メールが来た。  
宇宙から撮つたであろう写真付きで。  
しかも、だんだん地球から離れている。

「何なのよ・・・」

かれこれ2年も送り続けられているこのメール、不思議に思つた私は友人に相談した。

彼・・・空と私の幼馴染みである宇宙オタク、『南坂 春』だ。

『はーい、もしもし?』

「あ!春?」

『え、まさか夏樹!久しぶり!たしか・・・7年振りだ!空の葬式い・・・あ、ごめん・・・』

『いいのよ、あ、相談したいんだけど、時間いいかな?』

『?・?・?いいよ!』

私は全部話した。あらかじめパソコンにイタズラメールに添付されていた画像を入れていたから送り、30分掛けての相談だ。

『それ、空じゃない?』

「!?

『だつて!宇宙からメール届くなら5年掛かるよ!空の場合!』

「でも!そんな!」

『空は、嫁であるあなたの事、心配してたんだよ!だから何年もメール送つてたんだよ!毎日、毎日!』

「そんな・・・」

私の旦那『空』は今から7年前、宇宙に旅立ち、今から6年前に消息を絶つた。

そんな・・・なら一消息を絶つた時も、私の事、気にして・・・!

「あ、ありがとう。春。」

私は電話を切った。

ピルルルル！

「空ー？」

メールに文書はなく、ムービーが添付されていた。

『やあ！久しぶり！先に言ひナビ……これは遺言だよ！』

「空っ！」

『今までありがとうございました。この時僕はもう居ないけど。笑顔でいてね！あと・・・・・し・・せに！・・・・・き・・・・・！』

最後はなんと言つたかわからない。でも、何を言いたかったのか、理解できた。

ムービーなのに、ボイスしかなく、ノイズの酷いムービーだ。

「でも、私は幸せよ。ありがとう。」

(後書き)

お仕事ありがとうございました。

誤字脱字がありましたら、教えてくださいとあります。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2246ba/>

宇宙を越えた愛のメッセージ

2012年1月5日18時46分発行